

富沢小学校と家庭・地域をつなぐ学校だより



みらい

旭川市立富沢小学校

No.3

平成25年6月28日

発行

学校教育目標

夢をもち未来を拓く子ども

【目指す児童の姿】

かしこい子（知）
あかるい子（徳）
ねばりづよい子（徳）
たくましい子（体）

【実践の合い言葉】

きたえ ふれあう 富沢っ子

自分の口から出た言葉は 真っ先に自分の耳に入る

校長 松原博子

6月は「いじめ防止強調月間」でした。
文科省から依頼のあった「いじめアンケート」で本校児童も調査したところ、全ての項目が「無し」とはなりませんでした。
○いじめはある・・・1名(悪口を言われたことがある、ちょっと叩かれた)
○いじめを見た事がある・・・1名(もたもたしていたら早く早くと言われていた)
いずれも、担任が本人に話を聞いて事情がわかり、対処することができました。
本校の場合は児童が少数のため、全教職員が児童の顔と名前を理解し、声かけをすることができます。学級の枠を超えて指導することが「あたりまえ」となっています。ですから「深刻な問題」に発展することは無いにせよ、ことばのトラブルは、日常的に良くあることのひとつととらえています。子ども達は「いやなこと」に出会い、それを克服すること、なくすことを学んでいきます。大人は見落とさず見守っていかねばなりません。

玄関を入ると、「和願 愛語」の力強い文字が出迎えます。これは小原正作元校長先生が書かれて寄贈されたもので、「和願～おだやかな顔・愛語～やさしい言葉」と注釈があります。

自分の口から出た言葉を真っ先に聞いているのは、間違いなく自分自身です。相手を傷つける言葉は、他人の耳に届く前に自分の脳に届きます。汚い言葉や暴言、何気なくつぶやいた言葉であろうとも、まずは自分の心を通します。

心が豊かになっていく体験を「愛語体験」と表現した方がいました。大切な物を壊した子どもに「あなたがけがしなくてよかった」と慰めた人、苦しい体験をした自分に「幸せ貯金がたまった」と言い聞かせる人がいました。頻繁に使われる「愛語」は「ありがとう」でしょう。愛語は、とってつけたようなものは価値がありません。感謝や尊敬の気持ち、その折りに湧いてきた温かい感情を「あえて言葉にする努力」が必要です。その努力が自分を育て、周りの人間関係を育てます。

たくさんの愛語体験を積み重ねて来た人は、人としての太い根を育て、芳醇な実を稔らせます。富沢の子ども達が、にこやかな（和願）とともに、たくさんの（愛語）に出会い心を豊かにたくましく育ってくれることを願わずにはられません。

木の葉を通して射す 日の光は 木の葉の色
夜の闇を渡ってくる 風は 暗やみの匂い
君の唇から聞こえる 言葉は 君の 心の味がする

朝会で
子どもたちに
紹介した詩です



7月行事予定

7月の指導目標

生活目標
保健目標
給食目標

正しい言葉づかいをしよう！
夏を元気にすごそう！
夏の食生活について知ろう！

日	曜	おもな行事	日	曜	おもな行事
1	月	朝会 児童会 教育相談①	16	火	水泳学習②（台場小）
2	火	教育相談②	17	水	職員会議
3	水	夏の野山	18	木	読み聞かせ
4	木	教育相談③（夏の野山予備日）	19	金	研修日
5	金	集団遊び 研修日	21	日	（参議院選挙 投票所）
8	月	参観日	23	火	交通安全教室 ふれあい給食 諸費引き落とし
9	火	水泳学習①（台場小）	24	水	終業式 大掃除 床・ガラス磨き
10	水	A L T（国際理解）クラブ 読み聞かせ	25	木	先生と勉強しようデー①
11	木	朝会 期末処理日	26	金	先生と勉強しようデー②
12	金	職員会議	夏季休業 7月25日～8月18日		
15	月	海の日			

心育てる体験活動

生き物に対する思いやりの心を！

森林保全活動「どんぐり作戦」



上川中部森林管理署の職員を講師に全校児童でどんぐりの苗木を植える作業に取り組みました。
カミネッコンという段ボール製のポットを組み立て、苗木に対する思い思いのメッセージを書き入れました。

縦割り班活動で高学年が低学年の活動を助ける場面もたくさん見られました。
苗木は「秋の野山」の学習で【美遊の森】に植える予定です。
（注 美遊の森とは本校が平成15年度から森林管理署と契約し、学習フィールドとして活用している森のこと）

「人権の花運動」に参加



旭川人権擁護委員会（法務局）との連携により、今年度の「人権の花運動」に参加します。
植物を栽培することによって子どもたちに「命の大切さ・思いやり」のこころを育てることがこの活動の目的です。
12日に花の苗贈呈式が行われました。人権委員会のキャラクター「まもる君」に変身してくれた中谷先生、そして、5月のあの行事で登場したアイアンマンが再び学校に登場し、子どもたちは大喜びでした。学校の玄関前には全校児童が一人一鉢植えたマリーゴールドの花がきれいに咲いています。

「ホタル放流式」夏の輝き 心待ちに！



カムイの杜公園と西神楽パークセンターのご協力により、全校児童でホタルの幼虫を学校裏のせせらぎに放流する活動に取り組みました。富沢はきれいな水環境がありホタルの繁殖には最適の地でもあります。夏には最後の力を振り絞って青白く光るホタルの姿を観察できることと思います。夏休みには親子で是非見にいらしてください。

地域に対する奉仕の心を

『ボランティア塗装』に参加



建築士会旭川支部が主催している市内公園に対するボランティア塗装作業、平成23年度から3カ年計画でカムイの杜にある大型遊具の塗装作業を継続してきました。今年度も本校6年生児童（その保護者・兄弟）が4年生の時から3年連続でご協力いただきました。子どもたちのボランティア精神に拍手を送りたいと思います。
小雨の中ではありますが、どの子も熱心に作業に取り組み、最後には旭川市長さんから感謝状をいただき、記念撮影もしていただきました。

6年間の学びの確かめ

修学旅行 無事終了！



6年生4名が楽しみにしていた札幌・小樽方面への修学旅行が無事終了しました。
おもな見学先は、「大倉山ウィンタースポーツミュージアム」「札幌ドーム（公式戦観戦）」「小樽水族館」などでした。
見学先では見知らぬ人とのふれあいや地下鉄内で席を譲る行動もあったと聞いています。
6年間の成長と学びの成果を確かめることができ、充実した2日間の旅行となったようです。

理科ってこんなに楽しい！

北海道立理科センターの職員による「移動理科教室」が行われました。午前中は学年ごとに分かれてのプログラムでしたが、午後は一斉授業で、ペットボトルロケットの実験、ミツバチの秘密、液体窒素の実験など自然や科学に対する興味・関心・探求心をくすぐる内容ばかりでした。
一日中、理科の学習だけで終わりましたが、決して飽きることなく、もっと学びたいと目を輝かせる子どもたちでした。

